

吾國に於ける現在の社會狀態及び經濟狀態は全々行詰つてゐる。物價は益々騰貴すること共に、失業者は路傍に溢れてゐる。一ノ資本家は有らゆる手段を以つて、労働者の賃金の低下を計り、生産を緊縮せんとしてゐる。

爲めに近來の労働者は増々窮乏して、生活向上の爲にする經濟闘争の狀態は漸時深刻白熱化せんとしてゐる。

此の形勢を看たる爲政者は、普通選舉を實施して、労働階級の生活苦より起る階級闘争の統制を緩和せんと計つてゐる。其の爲め、船員が働かざるが故に、船内に於ける金縛制度であつた。此の制度は水夫長に罪惡を犯さしめ、善

良なる海員をして賭博密輸入等の墮落と頹廢に導く最大の原因である。故に此の制度は海員の雇備關係の變化したる亦船内諸制度の改正されたる現在に於いて

は徒らに海員を苦しめる掉取手段である事は極めて明かである。亦、過去の水夫長と水夫との間には言外の人情的美點が種々在つた。然るに社會の

變化と共に兩者の關係は其等の美點を一掃し何等の縁故もない不人情な、金貸と借用人との關係に變化した。

是に於いて此の制度は當然廢止さるべきなるに、頑迷貪慾なる水夫長は有ゆる手段を以つて、今尙此の惡制度の維持を船内に於いて強制してゐる。

最近に於いて此の不法なる掉取に追々自覺せる水夫は一一致協力して此の惡制度を打破すべく各船に於いて猛烈に運動を始めた。

此の虐げられたる水夫の自覺に基く運動は必然的に船内諸種の惡習慣を一新する性質を有つものである。

此の現象に驚怖を有つたる水夫長は、資本家の援助を得て、水夫長の團結的勢力を以つて水夫の自覺運動を抑へ付け、惡制度を持続すべく動き始めた。

即ち▲郵船會社水夫長の 郵船同志月々會
同 水夫長の 郵船健會
商船會社水夫長の 商船互友俱樂部

等は其の主なるものである。

此等の會の眞の目的は資本家を擁護して其の援助の下に水夫長の團結的勢力を以つて水夫の擡頭を抑へ、二割利付き、貸金を水夫に強制的に貸付けて、横暴なる掉取を永久に維持せんとするのである。

現在の水夫の大部分は實際、二割方少く給料を貰つて居るに等しい。

(三)

今や彼等の團結的勢力よりなる露骨なる掉取手段は、海員の無智と、性格の弱點を利用して、法律を逆用し、資本家と結託して、其の貸金手段に、取立方法に惡辣なる魔の手を挿して來たのである。

此に對する水夫の怨訴の聲は囂々として高まつてゐる。

吾々水夫は今にして此の惡制度を撤廢し、彼等の横暴なる手段を打破するに非ざれば現在の惡手段は、次に習慣となつて残り、吾々水夫を永久に水夫長の奴隸として引縛る鐵鎖となるものである。

若し此の惡制度が今後存続するならば、現在の進歩せる海員は再び過去の雲助生活に逆轉さるであらう。

故に吾々水夫は此の惡制度を撤廢するに就て、亦海員の政治的知識の普及に就いて、研究なし有効なる方法と斷乎たる組織的團結の力を以つて、其等の目的を貫徹せんが爲め

是に水夫のみを以て海員刷新會なる自衛的、研究會を設立したものである。

乍併、吾々は水夫の爲め常に心を碎く信頼すべき水夫長をも知るものである。

亦、此の制度を打破する事に依つて、其等の善良なる水夫長が、在來の収入が途絶された結果、諸種の惡習に悩みながら多くの家族を擁し直ちに困窮の底に落ちる水夫長を見殺しにせんとするものではない。

現在の狀態は水夫長の生活の窮乏を資本家に代つて水夫が負擔してゐると同様である。

故に吾々の本旨は現在の惡制度を撤廢して、水夫の窮乏を救ひ、他の方法に依つて、水夫長の生活を保證し相共に船員生活を安定ならしむる途を考へるにある。

此の吾が海員刷新會の要求は、目覺めたる水夫長に對しても大なる希望を與へるものと確信する。

吾が海員刷新會は決して労働組合ではない。然し其の職分に就いては水夫の立場より徹底的研究を進めるものである。

吾が海員刷新會は海上労働者にして本會の趣旨に賛成する人は入會資格を有つものであるが、吾々水夫は日本海員組合の組合員であつて、吾が日本海員組合の健全なる發達を期するものである。

故に吾々水夫の要求は、吾々海員の組合である日本海員組合の眞精神と相反するものでなく、其の正義的人類愛的精神を代表するものであると確信する。

右聲明す

海員刷新會創立大會